



小幡白鳥神社で追儺式

節分の日の2月3日、小幡の白鳥神社で、追儺式が執り行われました。

追儺式は、小幡百寿会と白鳥神社総代会の共催により、今年初めて行われたもので、百寿会のおじいさんやおば

あさん、神社総代の方々が参加したほか、招待を受けた小幡保育所の子供たちも参加しました。

式では、豆まきや玉串奉奠などが執り行われましたが、子供たちは、式終了後に自分たちだけの豆まきを行い、おみやげももらって大喜びでした。

なお、小幡百寿会会長の大橋さんは、「この追儺式を今回限りのものでなく、恒例化して、毎年実施していきたい」と話していました。

今月号のごあんない

町ミニ交通事故白書、3年間で640人が死傷……2～5 P
酒酔い運転の恐ろしさ……4 P

オアシス運動原稿入選きまる……6 P
比気さんが県知事表彰を受ける……7 P
町民マラソンに577名、保健婦健康メモ……8 P
お知らせ、わが家のアイドル……10 P

3年間で640人が死傷

「あそこの〇〇さんがバイクで車にぶつかって救急車で運ばれたんだと」「いがいケガしたんだと」——などという話がよく聞かれるようになりました。それだけ、交通事故が身近に起きているのだと思います。いったい、町内ではどのくらいの交通事故が起き、どのくらいの人死傷しているのでしょうか。また、どの辺で事故が多いのでしょうか。係では、広域消防八郷分署、石岡警察署の協力を得て、過去三年間の町内の交通事故の状況をまとめてみました。

五日に三件の交通事故が発生

交通事故の発生件数をより正確につかむため、救急車の交通事故出勤回数と、警察署の交通事故台帳から交通事故を拾ってみました。

交通事故は、五十四年に百四十件、五十五年は百四十九件、五十六年に二百一十一件発生しており、五十六年の急増が目立ちます。この五十六年の数は、平均すると、五日間に三件の交通事故が起きたこととなります。しかし、この数の中からパープライン（八郷町内）で起こった事故をみると、五十四年五件、五十五年三十一件、五十六年六十七件と増えており、パープラインにおける事故が急増しているといえます。

事故の多いのは九月の日曜日

三年間で一番多く交通事故が発生した月は九月、次いで十一月、十二月、十月、八月となりますが、七月から十二月まではパープラインの事故も多くありますので、これを差し引いた数でみると十一月、十二月、三月、九月、五月の順となります。

また、曜日別の発生件数では日曜日が最も多く、次いで土曜日、水曜日、月曜日と続き、平均

均すると、五日間に三件の交通事故が起きたこととなります。しかし、この数の中からパープライン（八郷町内）で起こった事故をみると、五十四年五件、五十五年三十一件、五十六年六十七件と増えており、パープラインにおける事故が急増しているといえます。

——グラフ1参照——

日では水曜日の発生件数が多くなっています。これらの順位は、パープラインの事故を差し引いても変わりませんが、日曜日と土曜日、水曜日の差が縮まっています。

ちなみに、一番多く事故が発生したのは九月の日曜日の十六回で、内九回がパープラインの事故となっています。

——表1参照——

● 路線別交通事故件数の推移

表2

路線名	54年	55年	56年	計
大規模農道	22	21	21	64
石岡笠間線	10	3	3	16
石岡下館線	26	23	27	76
石岡筑波線	5	3	4	12
八郷筑波線	15	4	5	24
八郷稲田線	6	5	7	18
西小塙石岡線	7	14	24	45
瓦谷柿岡線	4	5	3	12
竹の内羽鳥停車場線	7	2	6	15
土浦八郷線	7	5	7	19
小見笠間線		1		1
月岡真壁線	2	1	4	7
パープライン	5	31	67	103
上林籠田線	2			2
芦穂7号線	1	2		3
飯塚山崎線	3	1	1	5
その他	18	28	32	78
計	140	149	211	500

● 交通事故件数の推移

グラフ1

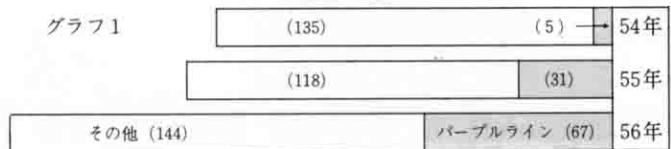


表1

● 月別、曜日別交通事故件数

(54～56年合計)

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	計
1月	6	4	4	7	6	4	5	36 (6)
2月	7	5	5	4	2	5	4	32 (2)
3月	12	4	2	6	5	5	9	43 (5)
4月	12	3	4	3	4	2	4	32 (4)
5月	13	5	4	3	7	4	5	41 (6)
6月	11	3	4	4	3		10	35 (5)
7月	12	7	4	4	5	5	4	41 (11)
8月	12	6	6	8	5	2	5	44 (17)
9月	16	6	5	12	3	5	6	53 (17)
10月	11	4	7	4	3	8	9	46 (12)
11月	10	9	8	3	6	5	8	49 (9)
12月	9	5	7	10	5	5	7	48 (9)
計	131 (61)	61 (8)	60 (10)	68 (8)	54 (8)	50 (1)	76 (7)	500 (103)

() 内はパープライン (内数)



小幡小で交通安全パレード

1月12日、小幡小学校全児童により交通安全パレードが行われました。

このパレードは、児童たちや地域住民の方々に、交通安全の意識を高めてもらうとともに、悲惨な交通事故が起きないようにという願いをこめて行われたもので、5・6年生の鼓笛隊のあとに、1年生から4年生の児童たちが、自分たちの力を合わせ一生懸命に作ったおみこしやプラカードを掲げ、宿通りをパレードしました。

西小幡石岡線の事故が増加

交通事故は、町内などの路線で多く発生しているのでしょうか。年次別、路線別に事故件数を調べてみました。

三年間とも一番多く交通事故が発生したのは、パープルラインを除くと県道石岡下館線ですが、県道西小幡石岡線の増加が目立ち、五十六年は石岡下館線に次いで多くなっています。

逆に交通事故が減少したのが八郷筑波線で、五十五年、五十六年は、五十四年に比べ三分の一となっています。これは、同線の柿岡地内の事故が減少したもので、信号機が設置された広

域消防八郷分署脇の十字路の事故減少がみられます。

また、各路線の事故発生場所をみると、石岡下館線では林小幡石岡線では瓦谷と部原、宿山崎の町道飯塚山崎線との交差点が、大規模農道では鯨岡と小屋

若者とお年寄りに多いバイク事故

死傷者数の多いのは、やはり事故件数の多い路線となつていますが、死者数に限ってみると、三年間ともパープルラインが半数以上を占め、死亡率が高くな

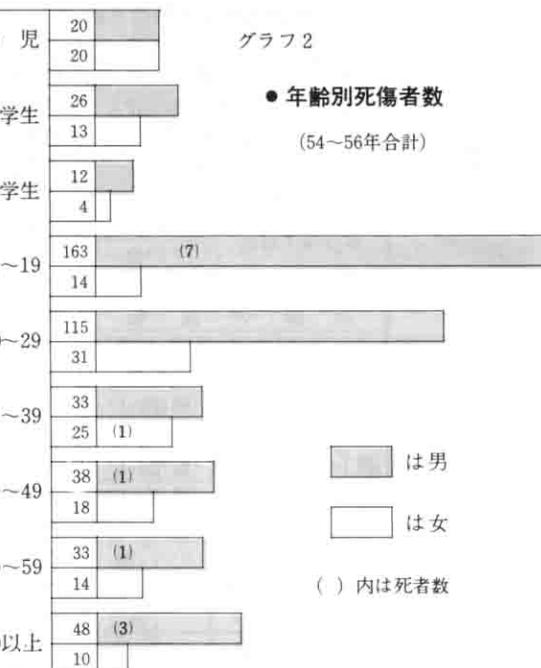
吉生小付近、朝日峠が、竹の内羽鳥停車場線では陣場地内が多発地となっています。

なお、地区別の五十六年中の事故件数をみると、小幡八十七件(パープルラインを除くと二十件)、柿岡三十三件、園部二十四件、瓦会十五件、芦穂十四件、恋瀬十三件、小幡十三件、林十二件となっています。

表2参照

つています。また、西小幡石岡線も、五十六年十二月中に小見と部原地内の二カ所で死亡事故が発生するなど、事故件数と合わせて死傷者数も増加しています。

これらの死傷者数を男女別にみると、圧倒的に男が多く、特に十六歳から十九歳では男の死傷者が多くなつており、そのほとんどがバイク(自動二輪車を含む)の関係した事故によるものです。また、幼児と小学校低学年は飛び出しや車へ同乗中、小学校高学年と中学生は自転車、六十歳以上はバイクによる交通事故の死傷者が多くなつています。



●路線別死傷者数の推移

表3

○ 内は死者数 (内数)

路線名	54年	55年	56年	計
大規模農道	30 (1)	32	32	94 (1)
石岡笠間線	11	7	5	23
石岡下館線	31	26	39	96
石岡筑波線	12	3	5	20
八郷筑波線	15	4 (1)	4	23 (1)
八郷稲田線	6	5	5	16
西小幡石岡線	7	16	29 (2)	52 (2)
瓦谷柿岡線	5	9	3	17
竹の内羽鳥停車場線	5	3	8	16
土浦八郷線	12	5	12	29
小見笠間線		2		2
月岡真壁線	6	1	4	11
パープルライン	5 (2)	41 (2)	87 (3)	133 (7)
上林籠田線	5			5
芦穂7号線	1	5		6
飯塚山崎線	6	1	1	8
その他	23	31 (1)	32 (1)	86 (2)
計	180 (3)	191 (4)	266 (6)	637 (13)

酒酔い運転の恐ろしさ

石岡地区女性ドライバー友の会
会八郷支部長 橋本 きい

私たち女性ドライバー友の会
員は、昨年十一月中旬に、交通
事故の裁判を宇都宮地方裁判所
において傍聴してきました。ち
ょうど初回の冒頭陳述が行われ、
検察官の取り調べ調書が読み上
げられ、交通事故の恐ろしさを
これほど感じたことはありません。

交通事故を起こしたのは三十
二歳の男の人で、慶応大学を卒
業してある信託銀行に勤め、将
来を嘱望されていたエリート銀
行員でしたが、四月のある日、

ハシゴ酒でひき逃げ

新入行員歓迎会の後、ハシゴ酒
をして自宅に近い場所、自転
車で帰宅途中の会社員をはね死
亡させ、家に逃げて妻には何事
もなかったように風呂に入ると
すぐに寝てしまいました。が、ち
ょうど事故現場を通り合わせた
人の通報で、車のナンバーから
犯行がわかり逮捕されました。

ひき逃げをした銀行員は、即
日解雇され、被害者から九、〇
〇〇万円の損害賠償を請求され
ているとのこと。また、酒
を出した飲食店にも罪があるこ
とです。加害者の奥さんにも

動作の遅れが原因と思われま
す。なお、年齢別に死傷者を見
ると、十六歳から十九歳までが最
も多く、全体の二七・八パーセ
ントを占め、次いで二十歳から

一六〜三四歳は交通事故年齢

交通事故の件数を、第一当事
者（過失割合の多い方）の原因
別にみたものが表4です。また、
第一当事者の年齢別にみたもの
がグラフ3です。二つとも石岡
警察署へ届け出があった交通事
故の件数ですので、他の表やグ
ラフの数とは異なります。

事故原因の半数以上が安全運
転義務違反となっており、中
でも安全不確認と安全速度不保持
が多くなっています。安全不確
認では、よく安全確認をせずに
右折や左折などをしたり、安全
確認を怠って交差点に進入した
ための事故が多く、車対バイク、
車対自転車、車対歩行者の関係
が多くみられます。また、安全
速度不保持では、飛び出した歩
行者や自転車などをよけきれな

二十九歳までが二一・九パーセ
ントを占めるなど、この年齢層
だけで五〇・七パーセントに達
しています。
表3、グラフ2参照

かかった車によるものが多くみ
られます。

次いで右側通行、最高速度違
反・覚せい剤等使用運転と続き
ますが、右側通行と最高速度違
反の九割以上を、十六歳から二
十九歳までの方たちで占めてい
ます。

なお、第一当事者を年齢別に
みると、二十歳から二十四歳、
十六歳から十九歳、二十五歳か
ら二十九歳、三十歳から三十四
歳の順で多くなっています。そ
して、これらの年齢だけで、全
体の六九・五パーセントを占め
ています。車やバイクなどを
使用する機会が多い年齢でもあ
るのでしたが、事故を起こしや
すい年齢であるともいえます。
表4、グラフ3参照

バイク事故の多発地はパープルライン

どのような型で起こる交通事
故が多いのでしょうか。車対車
の衝突だろうと考えるみなさん
も多いと思いますが、意外とバ
イクの単独事故が一番多く起こ
っています。この事故は、どの

年齢層にもみられますが、特に
十六歳から二十歳代前半にかけ
ての男子に多く、パープルライ
ンでの発生が多くなっています。
また、バイク対バイクの事故
も意外に多く、五十五、五十六

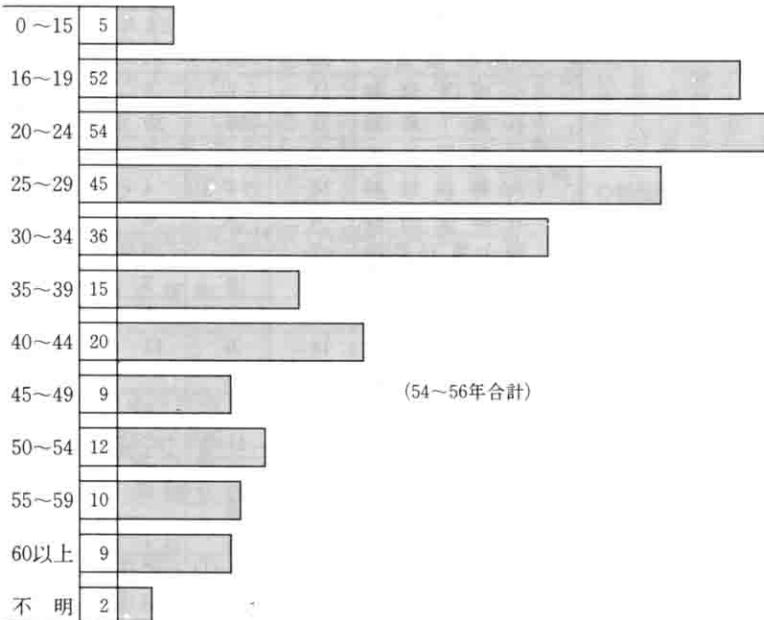
● 原因別交通事故件数

表4 (55～56年合計)

右側通行	12件	
最高速度違反	9件	
追越し方法違反	4件	
右折違反	3件	
左折違反	5件	
徐行場所違反	(交差点) 5件	
	(その他) 3件	
指定場所一時不停止等	5件	
酒酔い運転	3件	
安全運転義務違反	ハンドル操作不適	4件
	前方不注意(内在的)	4件
	前方不注意(外在的)	11件
	動静不注意	15件
	安全不確認(前左右)	21件
	安全不確認(後方)	6件
覚せい剤等使用運転(下命容認)	安全速度不保持	24件
	その他	5件
その他	9件	
計	162件	

● 年齢別第1当事者数

グラフ3





橋本さん

きておりましたが、これから将来のことを考えると涙を出不さずにはおられませんでした。
このように交通事故は、一瞬のうちに被害者はもちろん加害者も地獄に落とされてしまいます。私たちが家庭内においても、酒を飲んでハンドルを持つ人はいないでしょうか。車で来たお客さんに、安易にビールやお酒をだして接待をしてはいないでしょうか。飲酒運転は事故につながり危険です。酒を提供した人も罪になります。

酒が家庭を地獄に

この裁判を傍聴して、飲酒運転の恐ろしさを知りました。もし、この銀行員が酒を飲んでいなかったなら、会社員をはねることはなかったでしょうし、罪の恐ろしさのあまり逃げることもなかったでしょう。

酒が加害者、被害者の二つの家庭を地獄に落としたようなものですが、飲酒運転を追究することがまず大事だと思います。皆さん、家庭でそして職場で飲酒運転を追究して、安全運転を心がけましょう。

年の二年間で二十九件起こっています。原因としては、スピードの出し過ぎなどでカーブを曲がりきれず、センターラインを

事故の多いのは二二〜一六時

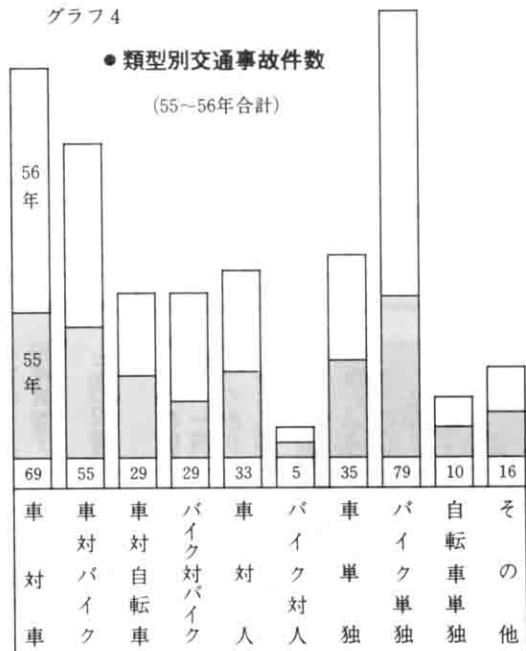
交通事故が起きる時間帯を見ると、十二時から十六時までが最も多く、特に日曜日のこの時間が多くなっています。しかも、パープルラインの事故もこの時間に集中しています。これらを考えると、十二時から十六時ころにパープルラインを通るとき、特に日曜日は、巻き添えを食わないよう、十分注意する必要があります。また、パープルラインを除いた平日の事故を、曜日と時間

オーバーして対向車と衝突するケースが多く、やはりパープルラインが多発地となっています。——グラフ4参照——

グラフ4

● 類型別交通事故件数

(55~56年合計)



● 死亡事故の概況

参考

年月日	曜日	時間	場所(類型)	年齢	性別
54年4/29	日	16:05	パープルライン(バイク単独)	16	男
5/5	土	13:30	下青柳地内大規模農道(車対自転車)	69	男
12/16	日	12:35	パープルライン(バイク単独)	17	男
55年6/15	日	13:15	パープルライン(バイク対バイク)	17	男
6/21	土	20:10	小幡地内県道八郷筑波線(車対バイク)	69	男
10/26	日	15:02	鶴沼行在所脇踏切(バイクの遮断機突破)	76	男
10/27	月	13:10	パープルライン(バイク単独)	17	男
56年3/21	土	13:30	南山崎地内町道(バイク単独)	49	男
9/23	水	11:35	パープルライン(バイク対バイク)	16	男
10/11	日	7:45	パープルライン(バイク単独)	19	男
12/1	火	9:45	小見地内県道西小堀石岡線(車対歩行者)	53	男
12/20	日	12:10	パープルライン(車対バイク)	16	男
12/28	月	7:35	部原地内県道西小堀石岡線(車対車)	31	女

● 時間別、曜日別交通事故件数

表5

(54~56年合計)

時間	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	計
0~4	6	6	3 (1)	2		2	3	22 (1)
4~8	10 (3)	8	8 (1)	4	7	4	12 (1)	53 (5)
8~12	21 (10)	9 (1)	7	24 (4)	9 (1)	16	14 (1)	100 (17)
12~16	66 (41)	19 (7)	14 (4)	15 (3)	17 (3)	10 (1)	25 (4)	166 (63)
16~20	20 (7)	13	25 (4)	21 (1)	16 (4)	15	19 (1)	129 (17)
20~24	8	6	3	2	5	3	3	30

()内はパープルライン(内数)

応募数三〇六四点の中から

小桜小の山中君ら二三名

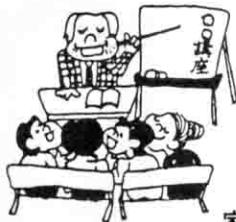
〓 オアシス運動原稿入選決まる 〓



同じ地域に住む人々が、親しみと思いやりをこめて、ことばをかけ合っている、よいある明るい近隣関係、青少年の健全育成をめざす「オアシス運動」がすすめられています。その事例や提言等の原稿募集を十一月から行っていました。一月末日に締切られ、審査の結果、小桜小学校四年の山中圭一

紙上講座

家庭教育②



よい習慣とは

子どもに、よい習慣を身につけさせることは、きわめて大切なことですが、さて「よい習慣」とはどんなことかとなるとまようことがありませんか。

そこで、「よい習慣」ということの内容を考えてみましょう。内容には、二つのことがらが含まれています。その一つは、子どもが、健康で安全に成長し、生活していくことの基礎になる行動様式です。すなわち健康や安全を守る習慣をできるだけ身につけさせることです。

もう一つの内容は、社会人として望ましい適応化を身につけることです。このことは、①自分のことは自分です。②ひとに迷惑をかけない。③ひとや世の中の役に立つことをするということになります。そして、①から②へ、それから③へうつるのではなく、①の上に②が重なり、その上に③が重なる、というようにしつけなければならないと考えられます。

以上は「よい習慣」とはどのようなものかを考える主点にしてください、子どものよりよい人間形成に努力したいものです。

一指導 柴山清先生一

郎君ら小・中学校・一般の部あわせて二十三名の入選が決まりました。今回は、小・中学生の応募が増え、これまで五回実施の中で最も多い三、〇六四点が寄せられ「オアシス運動」が一層波及しつつあることをうかがわせました。

各部の入選者は次の方々ですが、本紙では、入選作品の一部を来月号から紹介します。

- 〇オアシス運動 芦穂小四年 井川 晴美
- 〇オアシス運動 恋瀬小三年 友部 理夏
- 〇あいさつ 園部小二年 くぼ田かつや
- 〇「ごめんなさい」といつてよ 柿岡小一年 いい村たかし
- 〇オアシスのふしぎな力 瓦会小三年 大山 信之
- 〇あいさつ 林小四年 小山 俊之
- 〇わたしのおあしすうらんど 東成井小二年うちたかお
- 〇みんな「おはよう」 小幡小二年 仲村 沙織
- 〇「こんばんは」のあいさつから 柿岡小三年 大塚 聡子
- 〇どうして いえないの 大増小二年 青木 ゆう
- 〇「すみません」 吉生小六年 植木由美子
- ▽中学校の部
- 〇おばあさんの一言 柿岡中三年 横尾 明子
- 〇「おはようございます」の一言 南中三年 中村 君子
- 〇オアシス運動 園部中二年 鈴木 清美
- 〇「ありがとう」の言葉 有明中一年 岡野智恵子
- ▽一般の部
- 〇オアシス運動 小幡 飯田 幸子
- 〇「ぼく、あいさつでできるよ」 下林 富田 和江
- 〇オアシスを心掛けた日々 山崎 島田美登利
- 〇虹を見る 東成井 斉藤 正己
- 〇オアシスに生きる私 片岡 大野谷喜久雄
- 〇自然に出た言葉 柿岡 中沢 とみ

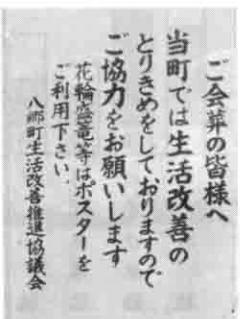
図書をドッサリ、関さんらが寄贈

このほど、公民館図書室へ小倉の関さんをはじめ、次の方々からドッサリ図書の寄贈がありました。さっそく児童・生徒・一般の方の利用をはかっています。公民館では「子どもの本を生かす運動」をひきつづき行っていますが、子どもからのプレゼントをお待ちしています。

- ◇「絵本百科」ほか四六冊、大字小倉 関孝一 ◇歌集「無邊光」 大字柿岡 吉田次郎 ◇「凍河」ほか三八冊 大字小見 柘植敏子 ◇「出撃」ほか二冊 大字宇治会 鈴木清之 ◇「樹氷」ほか九三冊 大字金指 小松崎真智子

生活改善ポスター利用を

左の葬儀用の生活改善ポスター(一一四×七九cm)は各区に配ってありますが、消耗したところは八郷公民館へ。無料です。



比気さん県知事表彰を受ける

二月九日、県民文化センターにおいて開かれた茨城県農村生活改善大会の席上、農業後継者の結婚相談員として、過去五年間に最も成果があった団体や相談員の方々の県知事表彰式があり、町からは小堀の比気新一郎さんが受彰しました。



比気さん

比気さんは、昭和四十七年から町の結婚相談員の委嘱を受け、

町食生活改善推進員連絡協議会も

リーダーの田村さんには感謝状

老齢にもかかわらず自転車で町内外を回り、農業後継者の配偶者確保に努めている方です。また、比気さんは、年々はな

やかになる結婚式の簡素化にも非常に協力的で、結婚適齢者を持つ親からの信頼も厚く、相談員の方々と親しくも努めるなど信頼された人格者であり、今後この道で広域的に活躍していただける方です。

一月二十六日、県南地方総合事務所で開催された「婦人と生活を考える集い」の席上、米の消費拡大運動の推進に功績のあった団体等の表彰式が行われ、町の食生活改善推進員連絡協議会（代表田村文子）が、県知事表彰を受けました。

同連絡協議会は、町産業文化祭会場などを利用し、バランスのとれた米食料理の展示、試食を行うとともに、いろいろな食料理の小冊子、展示食品の作り方パンフレットを配布するなどの活動を行っている団体です。このような正しい米食生活習慣

を推進させるための活動や、その活動を通して、私たちの健康増進にも寄与している功績が認められ、今回の受彰となったものです。また、二月四日、水戸市の県民文化センターで開かれた「第三回健康いばらき県民大会」の席上、同連絡協議会のリーダーとして、積極的に地域住民の健康づくりに取り組んでおられる田村文子（川又）さんに、県知事から感謝状が贈られました。



田村さん

ご存知ですか？

「検察審査会」

交通事故、詐欺、おどしなどの被害にあったのに、検察官が犯人を裁判にかけてくれない。あるいは、選挙違反や汚職など社会の耳目をひいた重大な事件を、裁判にかけないのは納得できない。こんな不満をもっている方のために、検察審査会があります。

検察審査会とは

検察審査会は、選挙権のある方の中から選ばれた十一人の検察審査員が、いわば一般国民を代表して、検察官が事件を起訴しなかったこと（不起訴処分）のよしあしを審査するところです。

あなたも選ばれるかも

この審査員は、市町村の選挙管理委員会が、選挙人名簿を基にくじで候補者を選び、その中から、検察審査会事務局長が再びくじで決定します。この方法で、当町から大塚の谷口汪さんが選ばれました。任期は六カ月です。

犯罪の被害にあり、不起訴処分不満の方は、土浦検察審査会事務局（土浦市中央、電〇二九八―二一四三四七）へ申し出てください。

万葉の歌碑二基を建立

このほど、高友山（丸山古墳の前）と国民宿舎「つくばね」に、八郷ライオンズクラブと丸山古墳保存会のご好意により、「万葉の歌碑」が建立されました。

高友山の歌碑（写真上）には――庭に立つ麻手刈（あさてか）り干し布（ぬの）さらす東女（あずまおみな）を忘れ賜ふな――という、小見郷（現在の恋瀬、瓦会、園部、及び林の一部）の娘子が、常陸国司との別れを惜しんでささげた相聞歌が刻まれています。

また、国民宿舎「つくばね」の歌碑（写真下）には――筑波嶺に背向（そかい）しかる谷（と）る葦穂山（あしほやま）悪（あ）しかる谷（と）が（も）さね見えなくに――という、筑波嶺の愛情のこもった歌（民謡）が刻まれています。





文化財を守ろう!

文化財防火デーの1月26日、文化財を火災から守る訓練が、国指定文化財の佐久良東雄の旧宅で行われました。

訓練は、午前10時、旧宅裏の台所から出火という想定で行われ、通報を受けた消防八郷分署から消防車がかつけ、火災想定場所へ実際に放水するなど、実戦さながらの訓練となりました。

成人者の日の一月十五日、町では四百四十一名の若人が、めでたく成人式を迎えました。

町の式典は、同日午前九時三十分から柿岡中学校体育館で開かれ、三百四十九名が出席。町長から成人証書と記念品が贈られました。また、式典に続いて、成人者の代表三名による青年の主張発表会やアトラクションなどが行われ、楽しいふん囲気の中で記念すべき

成人者は四四一名

町民マラソンに577名

第5回町民マラソン大会が、1月31日、広域消防八郷分署前をスタート（ゴール）地点に開催され、577名が参加しました。各コース（各部）の優勝者は次のとおりです。

〈2キロコース〉▷小学女子の部浜田峰子（瓦会小）▷小学男子の部足立喜代顕（芦穂小）▷中学女子の部竹林由子（有明中）

〈5キロコース〉▷中学男子の部鈴木浩一（園部中）▷壮年男子の部土子一郎

〈10キロコース〉▷一般男子の部羽生久男（上青柳）



成人病を防ぐ日常生活



人間の体は、年をとってくるとだれでも老化現象を起します。老化現象に伴って起こる病氣、四〇歳頃から多くなる病氣を成人病といいます。脳卒中とか狭心症、心筋梗塞などの心臓病、あるいはがん、糖尿病などがそれです。

全国の昭和五十六年死因別死亡状況は、第一位がん、二位脳血管疾患、三位心疾患と予想されていますが、八郷町では脳血管疾患による死亡が、全体の約三分の一を占め、また、上位三位までの成人病による死亡が全体の六割以上も占めています。そこでこのような成人病を予防するために、生活上次のことに十分注意してください。

①心の安定をはかる、
②生活のリズムを知り、

昭和56年死因別死亡状況（八郷町）

順位	死因	件数	割合%
1	脳血管疾患	73	28.6
2	心疾患	42	16.5
3	がん	40	15.7
4	老人衰	19	7.5
5	高血圧性疾患	14	5.5
6	肺炎・気管支炎	12	4.7
7	不慮の事故	12	4.7
8	動脈硬化	11	4.2
9	自殺	5	1.9
10	糖尿病その他	5	1.9
計		255	100

- 過労をさげ睡眠を十分に。
- ②怒りやいらいらは大敵で損。
- ③過度の緊張やストレスは禁物。
- ④適当に気分転換を。
- ▽生活の条件を整える
- ①寒さに注意。
- ②トイレは暖かく。
- ③入浴の脱衣所は暖め、お風呂は四〇度くらい。長湯は禁物。
- ④清潔な下着で布団は日光に。
- ⑤酒はほどほどにして、週に何日かはノーアルコールデー。
- ⑥酒を飲むときは、たんぱく質、脂肪、ビタミンの多い食物を。
- ▽正しい食習慣のすすめと注意
- ①バランスのとれた食事を。
- ②塩けをさけ、たんぱく質、ビタミンを多く。
- ③太りすぎに注意。
- 成人病は忍び足でやってきます。早期発見が第一。町でも四〇歳から六十五歳までの働き盛りの人を対象に毎年無料検診を行っています。自覚症状がなくても年一回は受診しましょう。

たこ上げ大会

1月10日、町民たこ上げ大会(写真)が、総合運動公園グランドで行われました。

大会には、手作りのたこを持参した90人が参加。よく上がった人やデザイン、でき具合のよかった人など13人には、賞品などが贈られました。

また、1月30日には、恋瀬保育所と瓦会保育所の合同たこ上げ大会も、同グランドで行われました。



親子スキー教室

第2回親子スキー教室が、1月5日から7日の2泊3日の日程で、新潟県の苗場スキー場で行われました。

この教室は、自然環境の中で寒さに負けない体力をつくるとともに、スキーの初歩的技術を習得してもらおうと行われたもので、大人16人、子供24人の合わせて40人の参加者があり、子供たちは降り積もった雪に大喜びしながら、スキーの特訓を受けていました。

町一番の大家族

今回は、八郷町で一番人数の多い家族を紹介してみます。町内に住民登録をされていて町在住(二月一日現在)の、最も多い家族は十一人家族で、町には全部で四世帯あります。その中から、大字小幡の中泉久一さんの家族を選び紹介します。



一日の幕が閉じられました。

短歌

吉田次郎選

霜溶けて濡れし青菜の畑中の道をゆきたり筑波は晴るる

東山崎 荒井岳山

災害の傷あとに残る日だまりに手料理そえて娘は茶を吸みぬ

上青柳 木崎千代子

字にならぬ字を書く孫の幼な手に吾が手を添える書き初めの朝

下林 白田正源

俳句

滝田玉水選

鶯も休耕田なる藪の中

青田 田上岳尾

大寒の月神杉をはなれけり

東山崎 荒井岳山

嶽初今日も野良着をまとい来し

中戸 大岡木堂

俚謡

大木嶺月選

窓に初日の光りを受けて一家雑煮を祝ふ膳

片岡 大野谷酪人

九十歳歳の身にしみじみと心温くもる世の福祉

下林 河合茂之助

七十七坂夫婦で重ね祝ふお屠蘇の戌の春

中戸 大岡木堂

中泉さん一家の家族構成は、久一さん夫婦、子供六人(男の子五人、女の子一人)、両親、

第一人で、皆さん健康で、笑いの絶えない、あたたかい家庭です。

十一人家族は、中泉さん一家

のほかに、大字柿岡の塚田好三

さん一家、大字猪内の路川利永

さん一家、大字小幡の市村菜さ

ん一家があります。



中泉久一さん一家

☆☆☆おしらせ☆☆☆

六百円で百万円の見舞金、 県民交通災害共済に加入を

昭和五十六年度県民交通災害共済の共済期間が、三月三十一日で終了します。継続して加入を希望される方は、二月一日から受け付けていますので、早めに手続きをしましょう。また、新たに加えられる方は、いつでも受け付けていますので、ぜひ加入してください。

この共済に加入すると、年間六百円（中学生以下三百円）の会費で、交通事故で死亡した場合に百万円、ケガの場合は、その程度により二万円から三十万円の共済見舞金が支給されます。

また、ケガが原因で一、二級の身体障害を残すことになった場合には、五十万円の身障見舞金も支払われます。

▽加入申込方法
会費を添えて、役場住民課または出張所へ申し込んでください。印鑑は不要です。

▽見舞金の請求手続
会員証と交通事故証明書、診断書、印鑑を持って住民課で請求してください。

この場合、自動車安全運転センター所長の発行する「交通事故証明書」がないと見舞金が制限されますので、事故が起きた場合はすぐに警察署へ届けてください。

▽見舞金の請求期限
事故発生の翌日から一年以内



鈴木祐美ちゃん（柿岡）

父 一吉さん 母 房子さん
昭和55年10月6日生まれ（長女）
家族からの一言 生まれたときは標準より小さかったのですが、今は標準以上になりました。病気になる気もせず、家の中では、いたずらをおこなってみんなを笑わせている、おちゃめな女の子です。

2月の納税

固定資産税	第4期
国民健康保険税	第6期
国民年金	第4期

ですが、身障見舞金については二年以内となっています。
※詳しいことは住民課（電三一〇一一一内線四二）へお問い合わせください。

一ha以上の林地開発には許可が必要

大切な森林を無秩序な開発の波から守るため、森林法に基づいて昭和四十九年にスタートしたのが「林地開発許可制度」です。

この制度では、民有林において一ヘクタールを超える林地の開発（ゴルフ場や農用地の造成、土石の採掘など）をしようとするときは、あらかじめ県知事に申請をして開発についての許可を受けなければなりません。

これから、一ヘクタールを超える林地の開発をしようとする方は、必ず許可を受けてから行ってください。

※許可申請の方法など詳しいことは、県南地方総合事務所林務課（電〇二九八―二二八五―一）か、役場経済課（電三一〇一一一内線六〇）へお問い合わせください。

八郷高校付近での宣伝放送は自粛して

昭和五十七年度の県立高等学校進学学力検査が、三月十一日（木）と十二日（金）の両日行われます。

この進学学力検査では、校内放送による聞き取りテストがあり、外部からの雑音によってテストに影響を及ぼす恐れがありますので、次の日時には高等学校付近での商業宣伝放送などをお願いします。

▽日時
〇三月十一日 午前九時～午後十二時三十分まで
〇三月十二日 午前九時～午後一時三十分まで

住民提案制度をご利用ください

県では、一人ひとりが生きがいを持ち、幸せと連帯にあふれた郷土を皆さんといっしょになつてつくりあげたいと考え、県民の皆さんから県政についての建設的なご意見やご要望をだしていただく「住民提案制度」を実施しています。皆さんのふだんの生活や地域の中での課題について、ありのままのご意見を

犬の放し飼いは絶対にやめましょう

お聞かせください。
皆さんからの提案は、十分検討し県政運営に反映させるよう努力しています。また、提案された方には、直接回答させていただきます。

住民提案カードは、役場住民課の窓口にありますからご利用ください。

※詳しくは、茨城県広報課（電〇二九二―二四一九四―二六）へお問い合わせください。

犬はつないで（特定犬はオリの中で）飼うことになっていきます。放して飼うと、群集化・野犬化し、人畜・農作物等に大きな被害を及ぼします。特に最近では、飼い犬が人にかみついたり、噛みついてきます。「つなぎ通しでは、かわいそうだ」との安易な飼い方が、とりかえしのつかない大きな事故を引き起こします。必ず守ってください。

放し飼いの犬は、狂犬病予防技術員により捕獲され、茨城県動物指導センター（笠間市日沢四七、電〇二九六七―二二二二〇〇）に抑留されます。

※不用犬（ねこ）、野犬等のご相談は石岡保健所（電〇二九九二―四一―三三五）か、役場環境衛生課（内線五七）へ。